

和歌山県立医科大学
医学部 学生募集
県民医療枠B・Cの手引
令和6年度版



<目次>

1. 県民医療枠B・Cについて・・・・・・・・・・	1
2. 卒後の勤務・キャリア形成について・・・・・・・・	2
3. 県民医療枠B・C入学者が勤務する 和歌山県指定の公的医療機関等・・・・・・・・	3
4. 和歌山県修学資金制度について・・・・・・・・	4
5. 産科・婦人科学講座からのメッセージ・・・	5
6. 小児科学講座からのメッセージ・・・・・・・・	6
7. 神経精神医学講座からのメッセージ・・・・・・・・	7
8. 本学の教育理念及び医学部の3つのポリシー・	8
9. 医学部のカリキュラム概要・・・・・・・・・・	9
10. その他学生支援策について・・・・・・・・・・	10



1. 県民医療枠B・Cについて

和歌山県立医科大学では、和歌山県内で医師不足が深刻な「産科医」等を育成するために、令和5年度入学者選抜より、下記のとおり県民医療枠を3種類に分け、診療科を指定した学生募集を実施しております。

また、診療科指定により入学した者に対しては和歌山県から修学資金が貸与され、卒業後、通常9年間のキャリア形成を本学の指定された診療科で行います。その場合は、貸与された修学資金の返済は免除されます。

記

1 県民医療枠の種類

- (1) 県民医療枠A 県内で従事する医師を育成する募集枠(診療科指定なし)。学校推薦型選抜および一般選抜で募集。
- (2) 県民医療枠B 県内で「産科」に従事する医師を育成する募集枠。学校推薦型選抜で募集。
- (3) 県民医療枠C 県内で「産科・小児科・精神科」のいずれかに従事する医師を育成する募集枠。一般選抜で募集。

2 県民医療枠の募集方法及び募集人員(予定)

募集方法	募集人員
学校推薦型選抜(全額)	県民医療枠A 5名程度、県民医療枠B 3名以内
一般選抜(前期)(全額)	県民医療枠A 10名程度、県民医療枠C 2名程度

3 県民医療枠の選抜方法

詳細については、7月下旬公表予定の「和歌山県立医科大学医学部入学者選抜要項」にてご確認ください。



2. 卒後の勤務・キャリア形成について

— 県民医療枠 B・県民医療枠 C —

●コース名

キャリア形成プログラム **特定診療科コース**

●コース概要

【目的】

県内で特に不足する3診療科（産科・小児科・精神科）に従事することで地域医療に貢献するコースです。

【内容】

<3年目から5年目、8年目、9年目>

- ・卒後2年間の初期臨床研修の後、5年間以上「地域派遣」の期間が必要です。
- ・「地域派遣」期間中の勤務先は、へき地医療拠点病院及び医師少数区域または医師少数スポットに所在する公立・公的医療機関等とします（P3 参照）。
- ・「地域派遣」期間中は、以下のとおりとします。

（1）産科

和歌山県が指定する地域派遣対象医療機関（医大を除く分娩取扱医療機関）にて、産婦人科での診療業務（婦人科のみの診療業務は対象外）に従事します。

（2）小児科・精神科

和歌山県が指定する地域派遣対象医療機関（医大を除く）にて、選択した診療科での診療業務に従事します。

<6年目、7年目>

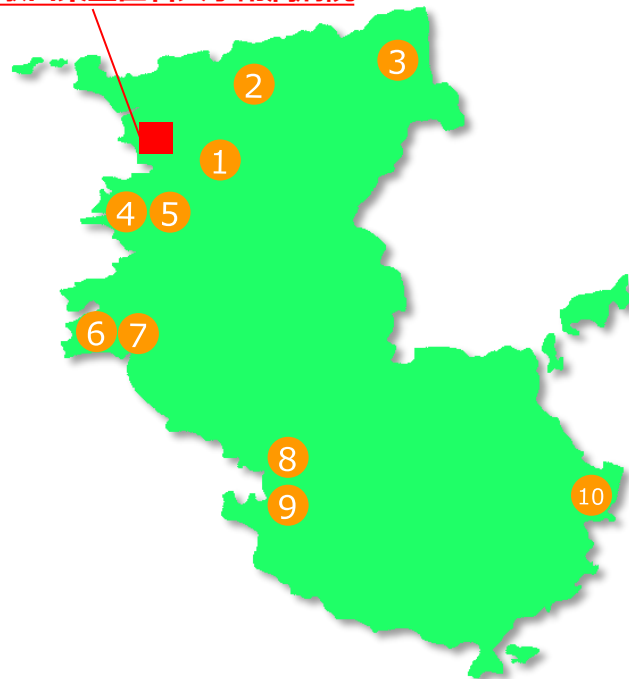
- ・「専門研修」の期間は原則卒後6年目、7年目の2年間とします。
- ・原則、基幹施設（医大等）での研修としますが、それ以外での研修先については、対象医師が登録した専門研修プログラムの連携施設の場合は研修可能です。

【コースイメージ】

本学医学部 医学生 1～6年生	9年								
	県内勤務期間								
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣			本学等での 専門研修		2年 地域派遣	
	●本学の専門研修プログラムに登録								

3. 県民医療枠B・C入学者が勤務する和歌山県指定の公的医療機関等

和歌山県立医科大学附属病院



産科

橋本市民病院③
紀南病院⑧

ひだか病院⑦
新宮市立医療センター⑩

小児科

公立那賀病院②
有田市立病院④
ひだか病院⑦
新宮市立医療センター⑩

橋本市民病院③
(独)国立病院機構和歌山病院⑥
紀南病院⑧

精神科

国保野上厚生総合病院①
ひだか病院⑦

和歌山県立こころの医療センター⑤
紀南こころの医療センター⑨

4. 和歌山県修学資金貸与制度について

— 県民医療枠 B・県民医療枠 C —

(1) 貸与条件

医師免許取得後、引き続いて修学資金貸与期間の2分の3相当の期間（最低9年間）、和歌山県が指定する県内の公的医療機関等に勤務すること。

このうち2分の1以上の期間（最低5年間）は和歌山県が指定する地域派遣対象医療機関において、以下の区分による診療業務に従事すること。

県民医療枠 B の入学者：産科※の業務

県民医療枠 C の入学者：産科※・小児科・精神科のうち自身が選択した診療科の業務

※「産科」とは、分娩取扱医療機関における分娩業務を含む産婦人科（婦人科のみを除く）の診療業務をいう。

(2) 貸与金

金額（1か月） 自宅外から通学する者 15万円
自宅から通学する者 10万円

(3) 貸与期間

6年間(通常)

(4) 返還免除条件

(1) の貸与条件を全て満たした場合、貸与金の返済を免除する。

ただし、条件を満たさなかった場合は、貸与金に一定利息を加えた額を所定の期日までに返済すること。

(注) 当該修学資金の内容については、令和5年6月30日時点での予定であり、今後、変更する場合があります。

(和歌山県修学資金の詳細について)

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/ishisyugaku/ishisyuugaku.html>



(問い合わせ先)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

和歌山県庁 福祉保健部健康局 医務課 TEL 073-441-2610

5. 産科・婦人科学講座からのメッセージ

<診療科の内容、特徴>

産科は“女性の一生のライフステージ”にかかわることができる診療科だといわれます。小さな受精卵がお母さんの子宮の中で赤ちゃんへと育つのを手助けし、崇高な“生命の誕生”に最初に関わることができるのは産科医であり、「おめでとう」



と妊婦さんに声をかけ、喜びや感動を共有できる唯一の科です。産科医としてのやりがいと共に、母子の2つの命を預かっているという重い責任感を感じる瞬間でもあります。

一方、婦人科領域では若い女性のホルモンバランスや健康管理、不妊に対する生殖補助医療、女性特有の疾患や婦人科がんの手術や治療に至るまで診療の範囲は広く、女性診療科とも呼ばれています。受験生の皆さんで『県民医療枠B・C』として入学をされた場合は、医学部6年間で学内および県内各地域での産科医療を肌で感じていただき、そこで活躍されている若い産科医の先生から産婦人科診療に必須の“チームの和”の大切さや高い医療倫理感を学んでいただけるようにします。卒後は和歌山県立医科大学にて初期研修2年間で修了後、7年間（卒後9年間）県内の産科医療に従事します。具体的には大学病院での最先端医療から地域のアットホームな産科婦人科医療を通じてスキルアップと全人格的なキャリア形成を可能にします。卒後6年で産婦人科専門医を取得し、その後は専門領域のスペシャリストや大学院や留学に進み研究者を目指したいなど、個々の希望に沿った人材育成を行います。



<受験生へのメッセージ>

医師の使命は病気をもった患者さんを治すことですが、産科は、生命の誕生という喜びや感動を妊婦さんやご家族と共有できる診療科です。どんなにAIやロボットが活躍する時代になっても、人々が生きている限り、この崇高な瞬間を手助けできる産科医は絶対に必要とされます。県民が安心安全に出産できるように、私たちと一緒に和歌山県の未来の世代のために、ぜひ産科医療をやりましょう。

6. 小児科学講座からのメッセージ

<診療科の内容、特徴>

新生児から15歳頃までの子どもたちが抱える病気の診断と治療、予防接種や健康診断を行います。子どもの病気は心臓・消化器・神経疾患など多岐にわたるため、大学病院では循環器・消化器・腎臓・血液・神経・児童精神・内分泌・新生児など、各診療分野を専門とする小児科医が対応する体制を備え、子どもたちが少しでも健康に幸せに暮らせるよう取り組んでいます。

<専門医への育成の取組（学部在籍中6年間および卒後9年間）>



学部在籍中は、4年生後半までに小児の正常な発達と様々な小児疾患の病態について知識を備えます。4年生後半からは外来・病棟実習に参加し、自身が備えた知識を駆使して鑑別診断など実践的に取り組みます。卒後は大学病院や県内連携医療機関で上級医の指導のもと小児患者の診療にあたり、採血やカテーテル挿入など実践的な技能の修得を目指し、子ども・家族とのコミュニケーション力にも磨きをかけます。

卒後5年間で専門医取得に必要な知識、技能、態度を身につけ、小児科専門医資格の取得を目指します。専門医取得後は大学病院や県内連携医療機関においてさらに4年間修練し、循環器・消化器・血液・神経・新生児など様々な専門分野の資格修得を目指すことができます。また、希望者は学位取得や国内海外留学を行うことも可能です。



<受験生へのメッセージ>

子どもの笑顔は社会を幸せにします。一人でも多くの子どもたちが笑顔になれるよう取り組む小児科医は素晴らしい職業です。皆さんを小児科医局でお待ちしています。

<先生の講義はこちらから！！>

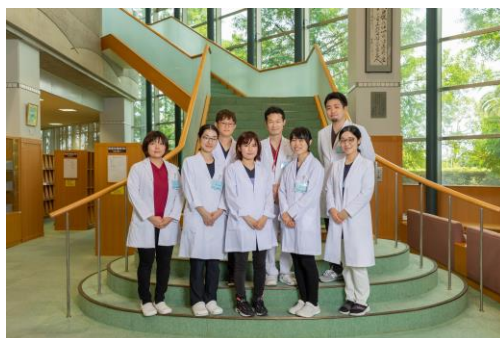


<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001808?back=>

7. 神経精神医学講座からのメッセージ

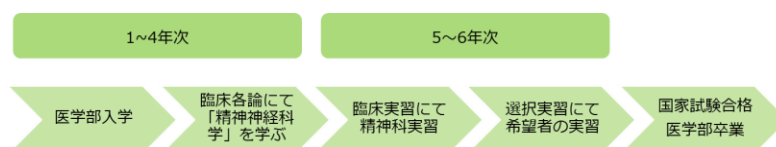
私たちと一緒に働きましょう

神経精神医学教室の淵源は昭和20年にあり、長い歴史と伝統をもちます。我々は和歌山県の精神医学・精神医療・精神保健福祉を今よりも少しでも向上させようと、日夜、努力しています。皆さんも是非、私たちの仲間になって、精神科を取り巻く広範な領域のさらなる発展に貢献して、一人でも多くの人が希望を持って、自分らしく、豊かな人生を送れるように尽力してみませんか。熱意をもった皆さんの入学を心からお待ちしています。



入学後の精神科医養成に向けたキャリア・パス

さまざまな専門分野がある内科などと比べると、精神科のキャリア・パスの出口は狭いと思われるかもしれませんが、ところが、精神科のキャリア・パス



は意外なほど広いのです。最近では精神疾患それ自体に加えて身体の病気を抱えた患者さんを診療する機会が著しく増えてきました。こうしたことから、総合病院精神科における精神科医のニーズはますます高まっており、精神科と他診療科の境界領域で勤務する精神科医も増えてきています。また、心理療法に関心の強い精神科医のなかには、心理学部の教官になるというキャリアを選ぶ医師もいます。誰でも医師になりたての頃は、自分が本当のところどういう仕事に向いているのかわかりません。例えば大学卒業時は内視鏡の技術を磨きたいと考えていた内科志望の医師が、実際に実技をしてみて不向きだと気づく場合もあるでしょう。精神科の場合も同様に、もともと興味があった分野に挑戦して違和感を覚えることもあるのですが、幸い、精神科は活躍の場のバリエーションが大きいため、精神科にとどまりながら仕事の内容を大きく方向転換をすることが可能なのです。医師自身もその人生のなかで、人生のさまざまな「危機」に遭遇します。出産や子育て、親の介護、自分自身の病気などをきっかけに、仕事に対する考え方が変わることもあります。当教室では、そのような事態が起こった場合でも、ポジティブな意味での方向転換を誰もができるよう、教室全体としてのサポートを心がけています。

受験生への MESSAGE



お問い合わせ：和歌山県立医科大学・神経精神医学教室

HP：<https://www.wakayama-med.ac.jp/med/seishin/index.html>

和歌山県立医科大学

神経精神医学教室 教授・診療科長

紀本創兵

日々、若手医師・学生と対話を通じて、充実した毎日を送ることができています。

医師としての第一歩、そしてキャリア形成を精神科医として、踏み出しませんか？

人のこころ豊かな暮らしのあり方について、学問として一緒に考えませんか？

<先生の講義はこちらから！！>



<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001810?back=>

8. 本学の教育理念及び医学部の3つのポリシー

和歌山県立医科大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

和歌山県立医科大学医学部の3つのポリシー

■ アドミッションポリシー(入学者受入方針)

【求める人物像】

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人

医学を志す人には、旺盛な科学的探究心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。

2. 医学を修得するための幅広い能力を有する人

医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。

3. コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人

医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力(情報の共有と良好な患者・医師関係が築ける能力)が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

1. 学校推薦型選抜

学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。

大学入学共通テスト、高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適正を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

2. 一般選抜(前期日程)

高い学力を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。

大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適正やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

■ カリキュラムポリシー(教育課程の編成方針)

1. 教育課程編成

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、教養、基礎医学、臨床医学に関する体系的で組織的な教育を提供します。知識に偏重した旧来型の教育ではなく、学修成果基盤型教育を行います。

2. 教育内容・方法

1) 1年次は教養教育が中心となります。医学への準備教育や自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識、医師としての倫理を学びます。また、入学後早い時期に医療の現場を体験する早期臨床体験実習や、3学部合同で患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育などで、能動的学習やコミュニケーション能力の獲得を目指します。

2) 1年次後半から臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学びます。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。

3) 3年次を行う基礎配属では、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学講座(社会医学系講座を含む)・先端医学研究所研究部・共同利用施設・人体病理学講座の研究室で実際の研究に触れます。大学院準備課程(M.D.-Ph.Dコース)で自身の研究を継続することもできます。

4) 3年次後半から4年次終了まで学ぶ臨床医学では基礎医学・社会医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診察、検査、診断、治療の基本を系統的講義で学びます。少人数グループにわかれ、症例シナリオを用いる問題基盤型学習も含まれます。

5) 共用試験に合格した学生は Student Doctorとして5年次から臨床実習を行います。臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の診療参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力の獲得を目指します。

6) 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得する教育を行います。

3. 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。4年次、6年次に行われる医療系大学間共用試験実施評価機構によるCBT(Computer Based Testing)、Pre-CC OSCE(Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)、Post-CC OSCEなどの試験も評価に含めます。

■ ディプロマポリシー(学位授与方針)

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に医学士の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの

2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの

3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの

4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

9. 医学部のカリキュラム概要

和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度（倫理観）を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、平成27年度には1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

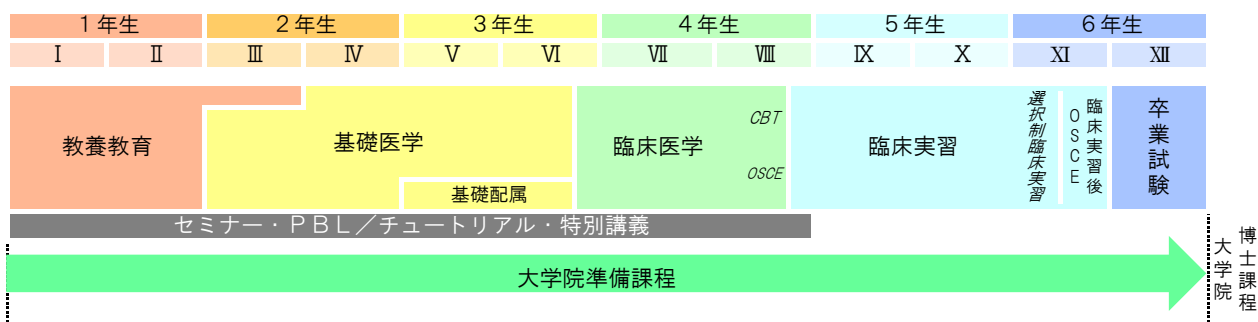
改革の骨子は、1年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。また、2年次、3年次には臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、基礎配属において研究に親しむ期間を設けております。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生はStudentDoctorとして臨床実習を開始します。臨床実習では期間を延長するとともに、より診療参加型実習を行います。臨床実習後OSCEを行い臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習、さらに、臨床技能をシミュレーターを用いて磨き、より実践的な技能を身に付けられるよう臨床技能研修センターも併設しています。

平成25年度からは、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。これにより、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。

これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。

なお、**県民医療枠B・Cの入学者については、カリキュラムの一部において、募集枠に応じた授業を実施いたします。**



紀三井寺キャンパス正門前

10. その他学生支援策

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。

	給付奨学金支給月		減免額(年額)	
	自宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
世帯所得金額に基づく区分	9,800円	22,300円	94,000円	178,600円 or
	or	or	or	or
	19,500円	44,500円	188,000円 or	357,200円 or
	or	or	or	or
	29,200円	66,700円	282,000円	535,800円

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

入学金・授業料(令和4年度実績)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

- ※ 日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。
- ※ 本学独自の奨学金として、医学部6年生に対して、「修学奨学金」「修学奨励金」として月額5万又は10万円を1年間無利子で貸与する制度等があります。
- ※ 高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

(令和4年度)

種類	区分	貸与月額
第一種奨学金(無利息)	自宅通学者	2万or3万or4.5万円
	自宅外通学者	2万or3万or4万or5.1万円
第二種奨学金(利息付)		2万から1万単位で上限12万円までの金額

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」への加入を義務付けています。

(令和4年度)

種類	保険金	保険期間
学研災	4,800円	6年間
学研賠	3,000円	6年間
計	7,800円	

入学手続の際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用してください。なお、民間アパート等のあっ旋や事業所の紹介はしていません。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり学業に影響がないように心がけましょう。